

[通常機体] シ / 英字 FGHIJ R 「MSV」

G-3 ガンダム

機体名	<u>G-3 ガンダム</u>	画像
型式番号	RX-78-3	
英語名		
所属	地球連邦軍	
パイロット	<u>アムロ・レイ</u> （小説版）	
装甲材質		
装備	ビームサーベル 60mm バルカン砲ビームライフルハイパーバズーカ	
作品名	MSV	
参考書籍	SD ガンダム G ジェネレーションスピリッツアクシズの脅威 V データベースアクシズの脅威 V 公式コンプリートガイドスーパーロボット大戦 XO 完全解析ファイル	

内容

RX-78 タイプにて当初開発された 3 機のうちの 3 番機にあたる機体。

サイド 7 において最終調整が行われていたが、ジオン軍 シャア・アズナブル 少佐指揮下の部隊との交戦において小破してしまう。

その後にルナツーに運び込まれ、電磁工学の権威であるモスク・ハン博士の提案である関節駆動部を磁気コーティングすることで MS の運動性を向上させる新技術「マグネット・コーティング」のテスト機として用いられた。

合わせて関節部駆動モーターや熱核融合炉のレーザー加速器を新型のものに換装し、2 号機以上の性能を獲得したという。

カラーリングはグレーを基調とした視認性の低いものを採用、テスト時には肩部および足首に識別灯を取り付けていた。

本機は終戦間際に アムロ・レイ 少尉が 2 号機に代わり搭乗したとも、ホワイトベース 級 5 番艦「SCV-73 ブランリヴァル」に搭載されたとも伝えられるが、真偽の程は定かではない。

■ G ジェネスピリッツ

連邦軍の汎用試作型 MS。

RX-78 ガンダムの試作 3 号機である。

テストのためサイド 7 に搬入されたが、そこでジオン軍の攻撃を受けて小破し、ホワイトベース に回収された。

その後ルナツー基地の施設に引き渡され、修復されてマグネットコーティング処理の実験機となっている。

なお、小説版「機動戦士ガンダム」では アムロ・レイ が搭乗し、実戦に投入されている。

■ アクシズの脅威 V

最新技術であるマグネット・コーティングが施されたガンダムの 3 号機。

ジオン特務部隊のサイド7強襲時に破損した機体だが、ルナツーで修復され実験機として転用された。

■アクシズの脅威 V 公式コンプリートガイド

ガンダム3号機の最終仕様で、マグネット・コーティングが施されている。

大戦末期に強襲揚陸艦ブランリヴァルに配備されア・バオア・クー攻防戦に参加したのち、ホワイトベースIIに送られた。

■スーパーロボット大戦XO 完全解析ファイル

マグネット・コーティング処理が施されたガンダム。

フルアーマー装備が施され出撃後に分離を行うとこの姿になる。

なぜかGファイターとの合体はできない。

→フルアーマーガンダム

備考

当機は数奇な運命から様々な実験機となっている可能性が高い。

マグネットコーティング処理、フルアーマーシステムの母体、Gアーマーのテスト等。

- ・フルアーマーガンダム
- ・G-3ガンダム（Gアーマー実験機）
- ・Gアーマー G-3タイプ
- ・Gアーマー（実験機）

スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長	
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	